



万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部ニュース

News of Japan Chapter of International Society of Surgery

発行：万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
慶應義塾大学医学部外科学教室
TEL:03-5363-3802 FAX:03-3355-4707
発行者：今野弘之
編集責任：万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部事務局長
八木 洋 (慶應義塾大学医学部外科学教室)
印刷：株式会社 dig TEL:03-3551-3060
年2回発行 1995年4月創刊

Welcome Message Information Surgical Week (ISW2022) 15-18 August, 2022 in Vienna, Austria

President, ISS-SIC
John G Hunter



I am pleased to provide a heartfelt invitation for all our Japanese colleagues to come to Vienna in August of this year for International Surgical Week (ISW), otherwise known as the World Congress of Surgery.

It has been a tough two years. In 2021 we had to pivot from the planned World Congress of Surgery in Kuala Lumpur (KL) to an online Virtual Surgical Week, held over the last week of August 2021. While we missed the face-to-face contact, the meals together, and the chance to renew friendships, Virtual Surgical Week 2021 was a resounding success. The content was extraordinary and attendance far eclipsed our expectations. While we hoped to hold ISW in Malaysia in 2022, our Malaysian leaders, Cheng Har Yip and Hisham Abdullah felt that the risk of cancellation or quarantine would likely persist right up to the time of our congress in August. With this high degree of risk, it seemed most prudent to delay the meeting in Kuala Lumpur one more time, until 2024. In its place, we would search for a site to hold a face-to-face International Surgical Week 2022 in a location that would not bear the same burden of cancellation risk.

Thanks to the work of Albert Tuchman, we have located a wonderful

historic venue to hold our meeting in August of this year, the Hofburg in Vienna Austria. Please mark your calendars now to attend, August 15-18, 2022. Our program planning team is in full gear to put together a remarkable program. The abstract submission window has recently closed. We received 712 abstracts from 49 countries, including 36 abstracts from Japan. We are excited that there is so much interest in coming to Vienna this summer!

Finally, we recognize that the Covid pandemic might return with a new variant between now and next summer. New variants will continue to emerge, but there is nothing on the horizon at this moment, and it appears to most experts that the current vaccines will be sufficiently protective to limit disease severity should a new variant emerge. The high vaccination rates and safety precautions in Austria will make this one of the safest venues in the world to hold our World Congress of Surgery. Overwhelmingly our ISS-SIC Council voted to get together face to face this summer in Vienna. We hope that you will be able to join us.

Best holiday wishes,

John G Hunter MD FACS FRCS Edin (hon)
President, ISS-SIC



ウィーンの街並み

今回の ISW は、
2022年8月15日から18日
オーストリアのウィーンで開催されます。



Vienna, Austria
15-18 August 2022

49th World Congress of the International Society of Surgery ISS/SIC

International Surgical Week
The World's Congress of Surgery
isw2022.org

Congress President: John G. Hunter, USA
National Congress President: Albert Tuchman, Austria

Abstract Deadline
28 February 2022

International Society of Surgery ISS / SIC
and its Integrated Societies

IAES - International Association of Endocrine Surgeons
IATISIC - International Association for Trauma Surgery and Intensive Care
IASMEN - International Association for Surgical Metabolism and Nutrition
BSI - Breast Surgery International
ISDS - International Society for Digestive Surgery
ASAP - Alliance for Surgery and Anesthesia Presence

surgery@iss-sic.com
isw2022.org

支部活動報告 (2021年1月~12月)

- 2021.4.1 万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部ニュース第52号発行
- 2021.4.10 第50回万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部総会 (WEB会議)
- 2021.11.1 万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部ニュース第53号発行
- 2021.11.30 第51回万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部総会 (WEB会議)
- 2021.12 ISS Foundationへ寄附金1000ドルを送付
ISW2022 in Viennaに関するアンケートの実施 (ISSプログラムの座長・演者・査読委員就任希望について)

会員動向 (2022年3月1日現在)

会員数 **314名**

内訳
正規会員 321名
シニア会員 21名
名誉会員 2名

information

この度、新規記事として『information』欄を新設しました。

コロナ禍、交流の場面が乏しくなった現状において、ぜひ情報交換の場としてご活用頂きたく存じます。

今回お二人の会員の先生から活動状況についてお知らせいただきました。

国際内分泌外科学会の準備状況

IAES President 宮内 昭 (医療法人 神甲会 隈病院 院長)

昨年末には一旦は終息しつつあるかと思われた新型コロナウイルス感染症の流行がオミクロン株の出現によって、今年の1月から急速に流行が広がりました。しかし、2月中頃から徐々に新規の患者数が減少してきています。International Surgical Week 2022が開催される本年8月の状況を正確に予測することは困難ではありますが、何とか現地開催できるのではないかと希望的に予想しています。

さて、国際内分泌外科学会: International Association of Endocrine Surgeons (IAES) では、オーストリア、ウィーンで現地開催するべく準備を進めています。日本時間で2月24日木曜早朝にIAESのWeb Council Meetingが開催され、準備状況が確認、承認されました。Local Organizerのウィーン大学外科のNiederle教授のお働きによって、Social Eventsが次のように決まりました。IAES会員向けの推奨ホテルをThe Flemings Deluxeとしました。このホテルで、8月14日(日)18:30よりIAES会員を対象としてWelcoming Reception(参加費30ユーロ)を行い、16日(火)夜にはCity Hallにてウィーン市長の出席・歓迎によるGala Dinnerを行います。市長のご厚意によって参加費を60ユーロに抑えることができました。そこで、Welcoming ReceptionとGala Dinnerをセットとして90ユーロにて参加申し込みができることになりました。大変割安であると存じます。さて、IAESの学術期間は8月15日(月)から17日(水)とし、18日(木)は予備日としました。プログラムには、Presidential Address, Peter-Heimann Lecture,

Interesting Cases, "Eye-opening" IAES Endocrine Video Sessionを用意しており、Endocrine Surgical Tumour Board SessionはIAES Luncheon Sessionとして開催し、この時の昼食は隈病院が提供させていただきます。さらに、Scientific [mis] Conduct and the Care of Surgical Patientsのセッションでは、内分泌外科領域における社会的な問題について取り上げます。Highlighting Basic Science in Endocrine Surgeryでは内分泌外科における基礎的研究の進歩を取り上げます。Some New, Exciting and Ready for 'Realtime' Advances in Endocrine Surgeryのセッションでは最近注目され始めたThyroid Nodule Ablative TechniquesとFluorescence-based Parathyroid Detectionを取り上げました。これらに加えて、24のFree Paper Oral Presentationsと約60のPoster Presentationを予定しています。すでに演題応募期間は終了しており、154の抄録が提出されています。現在プログラム委員会において評価中であり、採用されたら筆頭演者宛てに3月末までに通知があるはずですが、4月23日までに参加登録と参加費の支払いがないと発表の権利を失いますのでご注意ください。皆様と8月に歴史と美と音楽の都、ウィーンで会うのを楽しみにしています。



IASMEN 活動報告

小谷 穰治

Virtual Meeting (VSW2021) Aug 30 - Sep 3 2021には多くの反響があった。中でもEnhanced Recovery After Surgery (ERAS)セッションは特に反響が高かった。炎症への暴露を最小限にすることで長期生存率の改善を可能にするERASの取り組み(Dr. Olle Ljungqvist)や、骨格筋に対する電気刺激で骨格筋の量と質を改善するICUでの取り組み等(神戸大学救急医学講座 井上特命教授)は特に注目を集めた演題であった。

IASMENでは、Secretary SNS communicationである中山真美先生が中心となってSNS(Twitter, Facebook)による会員増強および広報活動を2020年から開始し、毎月メンバーの紹介や論文の解説を行ってきた。2021年度はFacebookやTwitterのフォロワー

は2.5 - 5倍に増加しており、若手会員増強や広報のため2022年も継続している。また、Secretary generalである小谷が中心となり、アジアの外科栄養関連学会とのコラボレーションの強化も進めており、今年度は各国PEN societyへのIASMEN block member制度を新設予定である。

日本と韓国の外科代謝栄養学会が中心となり、アジア各国の外科代謝栄養学会とともにアジア外科代謝栄養学会を昨年末新規設立した。第1回学術集会在今年5月に韓国外科代謝栄養学会との共催で開催される。第2回は比企直樹先生が大会長となり、日本外科代謝栄養学会と共同開催の予定である。アジア外科代謝栄養学会には、土岐裕一郎先生、比企直樹先生、小谷が理事に就任しており、IASMENとの学術交流を活発に行う予定である。

ISS/SIC万国外科学会日本支部会員の皆様

現在、会員の皆様に発信するinformationを募集中です。

リモートやオンラインなど交流の変化した現状において、ぜひ情報交換や交流を広げる場として活用してください。

過去行った活動、これから行う活動のメンバー募集や近況、

お薦め書籍や論文、学会での出来事などでも結構です。

掲載ご希望の場合は事務局(iss.sic.japan@gmail.com)

までお知らせ下さい。

◇各コレクティブメンバー ソサエティーの活動報告・予定

- ・活動名(会の名称)
- ・開催日



◇会員の皆様の活動報告

例) 主催された学会・研究会、各施設の
コロナ対策関連、人事(就任・異動)、
著書、新聞掲載記事、発表論文、学
会発表等



(紙面の都合上、掲載部分については別途ご相談させていただきます。)

2022年度予算案

2022年 予算案 (2022年1月1日~12月31日) ISS/SIC

日本円の部

単位:円

収入の部	予算額	備考
ドルから預替	700,000	6300ドル 1ドル110円で計算
広告掲載料	450,000	4社×2 1社×1(1口あたり50,000円)
寄付	0	
雑収入	0	
利息	0	
当期合計	1,150,000	
前年度繰越金	9,236,941	
収入合計	11,536,941	
支出の部		
会議費	380,000	支部総会2回分
通信費	150,000	
印刷費	370,000	支部ニュース2回発行分
文具費	5,000	
交通費	90,000	
人件費	520,000	
雑費	15,000	
予備費	30,000	
Yokohama Award 賞金	500,000	
支出合計	2,060,000	
収支残高(次年度繰越金)	7,590,000	

ドルの部

単位:ドル

収入の部	予算額	備考
会費	5600.00	USD 45×131 (2021年会員支払人数)・4%チャージ
利息	0	
繰越金	1615.07	
収入合計	7215.07	
支出の部		
日本円へ預替	6200.00	
ISS Foundation 寄付	1000.00	
支出合計	7200.00	
次年度繰越金	15.07	

2021年度決算書

2021年度収支決算書

(2021年1月1日~12月31日)

日本円の部

単位:円

I 収入の部	予算額	決算額	備考
会費	700,000	700,000	
広告掲載料	500,000	450,000	
寄付	0	0	
雑収入	0	75	
当期合計	1,200,000	1,150,075	
前年度繰越金	9,071,513	9,071,513	
収入合計	10,271,513	10,221,588	
II 支出の部			
会議費	100,000	3,413	支部総会開催春・秋ともWEB開催
通信費	150,000	121,012	
印刷費	370,000	299,200	支部ニュース52号・53号
文具費	5,000	6,472	
交通費	10,000	1,280	
人件費	520,000	540,000	
雑費	15,000	13,270	
予備費	30,000	0	
Yokohama Award 賞金			
支出合計	1,200,000	984,647	
収支残高	9,071,513	9,236,941	次年度繰越金

USドルの部

単位:ドル

I 収入の部	予算額	決算額	備考
会費	6000.00	5659	
利息	0	0.4	
前年度繰越金	3137.78	3137.78	
収入合計	9137.78	8797.18	
II 支出の部			
日本円へ預替	6300.00	6182.11	
スイス本部への寄附	1000.00	1000.00	
支出合計	7300.00	7182.11	
次年度繰越金	1837.78	1615.07	

残高 日本円 9,236,941円 (通帳残高9,222,488円+現金14,453円)

USドル 1615.07ドル (通帳残高1615.07ドル)

※2011年 ISW2011 横浜より YOKOHAMA AWARD 賞金として余剰金(7,812,000円)を寄贈

ISS/SIC 万国外科学会 日本支部

2022年2月4日

監事

宮内 昭 印

2022年2月9日

監事

海野 倫明 印

血液凝固阻止剤
アコアラン® 静注用600・1800
600国際単位、1800国際単位 / バイアル
アンチトロンビン ガンマ(遺伝子組換え)静注用
ACOALAN® Injection
[生物由来製品] [処方箋医薬品] (注意-医師等の処方箋により使用すること) [薬価基準収載]

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元 協和キリン株式会社
販売元 一般社団法人 日本血液製剤機構
東京都千代田区大手町1-9-2
東京都港区芝浦3-1-1

ACO-202101
[文献請求先及び問い合わせ先] 日本血液製剤機構 ぐすり相談室
〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-1 医療関係者向け製品情報サイト <https://www.jbpo.or.jp/med/di/>

抗悪性腫瘍剤 / 抗PD-L1^{注1)}ヒト化モノクローナル抗体
生物由来製品、創薬、処方箋医薬品^{注2)} [薬価基準収載]
テセントリク® 点滴静注 1200mg
TECENTRIQ®
atezolizumab
アテゾリズマブ(遺伝子組換え)注
※F.ホフマン・ラ・ロシュ社(スイス)登録商標

抗悪性腫瘍剤 抗VEGF^{注2)}ヒト化モノクローナル抗体
生物由来製品、創薬、処方箋医薬品^{注3)} [薬価基準収載]
アバステン® 点滴静注用 100mg/4mL
400mg/16mL
AVASTIN®
bevacizumab
ベバシズマブ(遺伝子組換え)注

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。

注1) PD-L1: Programmed Death-Ligand 1
注2) VEGF: Vascular Endothelial Growth Factor (血管内皮増殖因子)
注3) 注意-医師等の処方箋により使用すること

製造販売元 中外製薬株式会社
〒100-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1
TEL.0120-189-706 FAX.0120-189-705
[改訂請求先及び問い合わせ先] メディカルインフォメーション部
[販売情報提供活動に関する問い合わせ先] <https://www.chugai-pharm.co.jp/guide/inf/>

2020年10月作成

第51回 万国外科学会(ISS/SIC)日本支部総会 議事録

2021年11月30日(土曜日) 午後6:00-6:45 WEB開催

出席者：今井常夫、内野隼材、岡本高宏、掛地吉弘、片井均、亀岡信吾、菊地勝一、菊池寛利、北川雄光、北川博昭、北野正剛、小谷穰治、小林道也、今野弘之、佐藤美信、杉谷巖、高田泰次、竹政伊知朗、寺島雅典、中村清吾、中山真美、夏越祥次、鍋谷圭宏、野村幸世、馬場秀夫、比企直樹、福島亮治、藤村隆、前田耕太郎、松原久裕、溝端康光、宮内昭、八木洋、矢永勝彦、山口茂樹、和田則仁(敬称略、五十音順、計36名)(事務局：猪瀬純子)

1. 開会の挨拶 今野弘之日本支部長

2. ISS/SIC 理事会報告・ISW2022について

今野日本支部長：9月25日に Council Meeting が行われ、その時点では WCS2022 の開催予定地はマレーシアであった。その後、2回の臨時理事会が開かれ開催地について検討を重ね、最終的にウィーンにて開催(2022年8/15～8/18)が決定した。現時点では、対面開催で行う予定。演題締め切りは2022年2/28。新型コロナウイルス感染の拡大状況により流動的な面もあるため、日本支部から各先生方には随時情報共有を行っていく。不確実な要素がある中ではあるが、皆さんと一緒にウィーンに行きたいと考えている。何卒、演題登録とご参加をお願いしたい。尚、2024年はマレーシアで開催予定。

3. 2022年度予算案について

八木事務局長：来年度の予算案について支出オーバーが見込まれている。主な要因として会員数減少(166人→131人)に伴い会費収入の減少と広告費収入の減少(8社→4社)があり、差し引き約41万円の減収となる。今後は支出の見直しを行うと共にニュースレターへの広告掲載協力企業を増やすために、各企業に趣意書を送付し広告費収入増をはかりたい。趣意書には、教授・病院長等、該当する先生方にお名前を掲載させて頂きたく、ご協力を賜りたい。

今野日本支部長：プライマリーバランスをプラスにもっていききたい。繰越金については、WCS横浜が開催された際に渡辺先生に余剰金をご寄付頂いたものが含まれており、その分は2年に一度募集する YOKOHAMA AWARD の賞金として予定されているものである。国際学会に興味がある中堅・若手の先生方に声をかけて頂き入会を勧めて頂きたい。また八木事務局長からもあったように、ニュースレターの広告掲載協力を各企業に広く依頼し広告収入を増やす案を考えている。趣意書には先生方のお名前を賜りたいと考えており、ご協力をお願いしたい。

和田則仁前事務局長：来年度の予算案に関しては、広告収入の減少に伴い赤字となっているが、これまで黒字基調で来ていたため繰越金は少しずつ増えている状況ではある。構造的な問題を解決し、プライマリーバランスをプラスに出来るよう努力する。また、現状として日本支部総会がWEB開催となっており、会議費と交通費を使っていないため、実際には支出が抑えられている状況。

北野正剛先生：ご質問「退会される先生の年齢構成について、若い方な

かシニアなのか」

和田則仁事務局長：ご回答「日本支部の会員は若い先生が少なく、シニア会員(会費免除)となり退会なさる場合が多い。」

4. Collective Member Societies について

IAES 宮内 昭先生：ウィーンに積極的に参加する方針。日本内分泌外科学会の原理事長にメールし WCS2022 の案内を差し上げた。ウィーンでは1999年にも開催され参加した。大変良い場所なので、ぜひ参加して頂きたい。

IATSIC 溝端康光先生：例年行われている DSTC に関しては往来が出来ない状況なので開催は中止されている。ISW に関しては、現在検討中であり具体的な報告はなし。

IASMEN 小谷穰治先生：日本のみならず、世界中から会員を募る目的で、この一年間は SNS での活動を行ってきた。Facebook や TWITTER の閲覧数は徐々に増えている。また VSW ではプログラムを作り講演を行った。

BSI 井本 滋先生より(八木事務局長代読)：VSW にて基調講演2つ、シンポジウム4つ、ディベートセッション2つが行われた。オンコプラスチック手術のウェブセミナーが12月4日に予定されている。次回の ISW のプログラムはコロナ禍の状況にもよるが、総会前日にオンコプラスチックサージェリーと乳房エコーの講習会を予定している。総会では腋窩手術と再建術を中心にプログラムが固まりつつある。

ISDS 今野日本支部長：Fichera 会長より、「WCS2022 について流動的な面もあり、ご迷惑をおかけするがぜひ演題登録をお願いしたい。HP にも随時情報を更新していくので、注視して頂きたい。」とのこと。また、札幌東徳洲会病院の河野 透先生が11月9日にご逝去された。心からお悔やみを申し上げます。ISDS ではエグゼクティブコミティーメンバーとして精力的にご活躍された。

5. WJS より

片井均先生：2020年はコロナ禍ではあったが、投稿数は今までで一番多かった。論文採択率は2割程度を維持するよう命を受け、皆様に査読をして頂いている。原著論文の採択率は20%を切る形で推移している。日本の論文で採択されるものも増えており、誇らしい。2020年はダウンロード数も一番多い年であった。昨年にはインパクトファクターが3を超えた。ERAS のガイドラインを掲載していることが要因と思われる。2019年から2020年に出版された208の外科系の雑誌のなかでインパクトファクターが50%以上上昇したものは24雑誌だけであった。Google のトップ20の外科系雑誌のなかで、インパクトファクターが上昇した雑誌は WJS だけであった。引き続きエキスパートの記事を増やすことを目指しており、皆様にも万が一依頼がございましたらぜひお引き受けを頂きたい。

6. YOKOHAMA AWARD について

応募条件は例年通りで、応募時点で40歳以下の日本人外科医で① ISW2022 ウィーンに Oral の演題を提出、かつ② ISS 日本支部会員からの推薦があること。締め切り：2022年2月28日(WCS 演題締め切りと同日)

7. 次回支部総会日程について

次回の支部総会は恒例どおり日本外科学会最終日早朝を予定している。状況により開催方法、日程が変更となる場合がある。

以上(文責 八木 洋)

視認性と吸収性が求められる術後創へ

ロイコメドC
フィルムドレッシング

ハイドロゲルパッドが視認性と吸水性を提供

- 創の観察を容易にする視認性
- 湿潤環境を維持するための適度な吸水性
- 固定性と肌への優しさ

THERAPIES. HAND IN HAND.

BSN medical

一般名称：創傷絆創膏、販売名：ロイコメドC フィルムドレッシング / 医療機器製造番号：13B1X10103000034

TERUMO
テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 2-44-1 www.terumo.co.jp

TERUMO はテルモ株式会社の商標です。
Leukomed はビー・エヌ・エヌ・メディカル社(ドイツ)の登録商標です。
©テルモ株式会社 2016年6月

自然と健康を科学する。漢方のツムラです。

株式会社ツムラ

<https://www.tsumura.co.jp/>

● 資料請求・お問い合わせは、お客様相談窓口まで。
【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970
【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

(2019年8月制作) RVCAx01-A (審)